

## 新しい生活様式、障がいのあるかたへの配慮をお願いします

新型コロナウイルス感染症拡大により、人と人との距離の確保やマスクの着用など、私たちの生活様式は大きく変わることとなりました。

こうした変化に伴い、障がいのあるかたの中には、生活上のさまざまな不安や不便を感じているかたがいます。

このページでは、障がい当事者からの困りごとの声と、それらに対する配慮事項を紹介します。新型コロナウイルス感染症を予防しながら、誰もが暮らしやすいまちをつくるため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 視覚障がいのあるかたの困りごと

- ・日常生活では手で物を触って確認することが多いが、感染リスクを考えるとやりにくくなった。
- ・消毒器や検温器がどこにあるのかわからない。
- ・レジに並ぶときに床に位置の印があるようだがわからない。
- ・釣り銭のやり取りをトレーの上で行うようになり、どこにあるのかわからず困った。

### 配慮をお願いしたいこと

マスクの着用や手指の消毒など、基本的な感染症対策を行ったうえで、そのかたの状況にあった支援をお願いします。また、周りにいる人と適切な距離を確保することが難しいかたや、接触・接近による支援を必要とするかたがいるということにご理解をお願いします。

### 聴覚障がいのあるかたの困りごと

- ・マスクで相手の表情や口の動きが見えなくなり聞き取りにくくなった。
- ・ビニールカーテンにより相手の声が今まで以上に聞き取りにくくなった。

### 配慮をお願いしたいこと

透明マスクやフェイスシールドを使用する、距離を取ったうえでマスクを外して会話をするなど、口元がわかるような工夫をお願いします。

マスクを外せない場合は、筆談や身振り、ゆびさしによる説明などの対応をお願いします。

### 車椅子を使用するかたの困りごと

- ・車椅子では手の届かない高さに消毒器があることが多い。
- ・足で踏んで使用する消毒器は使用できないので困っている。

### 配慮をお願いしたいこと

消毒器は、車椅子を使用している人を含め、さまざまな人が利用するため、少しの配慮や工夫でより多くの人にとって便利になります。

使用者によって選択できるよう、いくつかのタイプの消毒器を設置するなどの対応をお願いします。

### その他の障がいのあるかたの困りごと

- ・感覚過敏のため、マスクをつけると肌が痛くなったり、気分が悪くなったりするため、マスクをつけられない。
- ・知的障がい・発達障がいのため、マスクをつける理由がわからず、つけてもすぐ外してしまう。
- ・障がい特性により、会話を控えることが求められている場所でも、突然声を出してしまうことがある。
- ・在宅でいることが長くなり、生活リズムや体調が崩れてしまった。

### 配慮をお願いしたいこと

マスクの着用が難しいかたがいることを知っていただき、

人と人との距離をあけるなどの対応をお願いします。

写真やイラストを使ってわかりやすく具体的に示すなどの工夫もお願いします。

また、社会変化による過度なストレスから、

これまで出来ていたことができなくなってしまうかたがいることに、ご理解をお願いします。

新聞や郵便物がたまっていたりしたら、気軽に声をかけたり、

その人が元気であるのか見守りをお願いします。

### お困りのことがあればご相談ください

障がいのあるかたが地域で安心して暮らすことができるよう、

身近な相談窓口として、町田市障がい者支援センターがございます。障がい種別や年齢に関わらず、

お困りのことがあればお気軽にお問い合わせください。障がい者支援センターは市内に5か所ございます。

月曜日から金曜日に開所しています。ただし、土曜日・日曜日と、祝日・年末年始は除きます。

開所時間は、午前8時30分から午後5時です。

各支援センターの電話番号は以下の通りです。

- ・堺地域障がい者支援センター：0427948790
- ・忠生地域障がい者支援センター：0427944851
- ・鶴川地域障がい者支援センター：0427088821
- ・町田地域障がい者支援センター：0427091301
- ・南地域障がい者支援センター：0427069624

### ヘルプカードについて

ヘルプカードとは、障がいのあるかたや難病のかた等の援助を必要とするかたが携帯し、

日常生活や、災害の時、緊急時に必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカードです。

ヘルプカードを持った人が困っているところを見かけた場合には、

声かけとヘルプ手帳の記載内容にそった支援をお願いします。